

「豊岡市人口ビジョン」及び「豊岡市地方創生総合戦略」を策定 ～豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている～

1 概要

豊岡市における人口動態の分析を基に、2040年における人口及び人口構造等を推計し、人口の将来展望をまとめた「豊岡市人口ビジョン」を策定した。

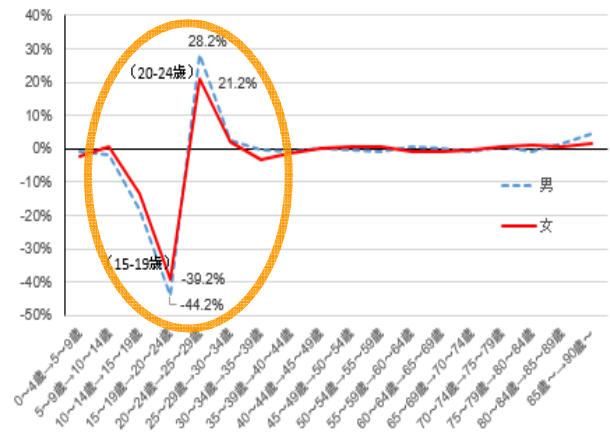
また、人口減少のスピードを和らげること（量的緩和）とともに、その対策を通じて自信と誇りに満ちた地域を創ること（質的転換）によって、人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、まずこの5年間に取り組むべきこととして「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し実行する。

2 豊岡市人口ビジョン

(1) 人口動態

ア 2040年には、1人の高齢者を生産年齢人口1.0人（2060年では0.9人）で支える年齢構造になると推測される。

イ 豊岡市の人口移動は、高校卒業後の就職・進学期（15～19歳）に大きく転出超過が見られ、逆に専門学校・大学卒業後の就職期（20～24歳）に大きな転入超過となっているが、その転入超過では、転出超過により減った人口の回復に至っていない。



(2) 将来人口推計

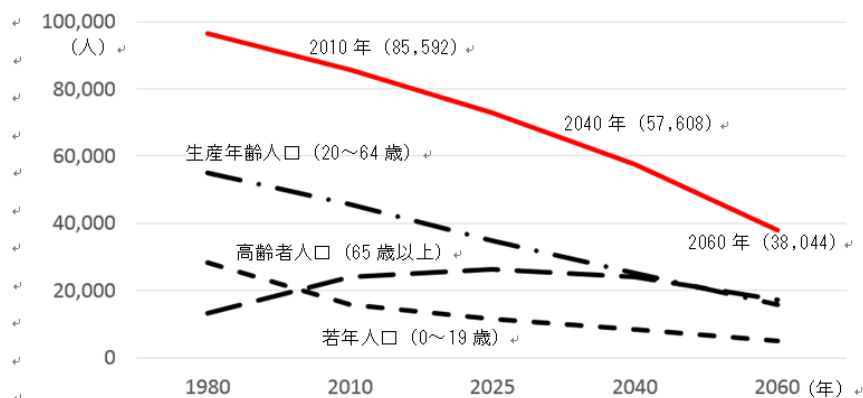
2010年に85,592人が2040年には57,608人、2060年には38,044人になると推計される。

(3) 人口の将来展望

ア 2040年の人口目標を62,165人とする。

イ 合計特殊出生率1.82（1人の女性が生涯に持つ子どもの数）を、2035年までに2.3に引き上げる。

ウ 若者回復率（10歳代の転出超過数に対して、20歳代の転入超過数が占める割合）を現在の35%を2025年までに50%に引き上げる。



（出典：1980～2010年は総務省統計局「国勢調査」、2015年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート（CD-ROM）により作成した独自推計）

3 豊岡市地方創生総合戦略

(1) 上位目的

「豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている」

(2) 戦略

ア 移住・定住促進に係る戦略

① 基本方針

- a 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- b その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- c 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

② 戦略体系図

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
指標	人口の社会増減の緩和
主要手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている (情報発信)
〃 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる (高付加価値・成熟化)
〃 03	豊岡で人々が世界と出会っている (ローカル&グローバル)
〃 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている (次世代育成)

イ 結婚促進、多子出産促進に係る戦略

① 基本方針

- a 結婚に至るまでの独身者に対する支援を行うとともに、様々な出会いの場や若者が集う場を提供することによって、結婚に結び付ける。
- b 安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠から産後・育児を支え、仕事と子育てを両立できる環境を整え、理想の子ども数を持ちたいという希望をかなえる。

② 戦略体系図

戦略目的	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている
指標	合計特殊出生率、出生数
主要手段 01	若い夫婦の数が増えている
〃 02	夫婦一組あたりの子ども数が増えている